

みずほCustomer Desk Report 2023/06/29 号 (As of 2023/06/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	143.85
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	143.85	1.0958	157.62	1.2746	0.6682
SYD-NY High	144.62	1.0961	158.00	1.2751	0.6689
SYD-NY Low	143.73	1.0896	157.28	1.2607	0.6597
NY 5:00 PM	144.48	1.0912	157.68	1.2636	0.6601
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,852.66	▲ 74.08	日本2年債	▲0.0700%	0.0100%
NASDAQ	13,591.75	36.08	日本10年債	0.3800%	0.0100%
S&P	4,376.86	▲ 1.55	米国2年債	4.7109%	▲0.0518%
日経平均	33,193.99	655.66	米国5年債	3.9696%	▲0.0663%
TOPIX	2,298.60	44.79	米国10年債	3.7127%	▲0.0581%
シカゴ日経先物	33,295.00	435.00	独10年債	2.3125%	▲0.0495%
ロンドンFT	7,500.49	39.03	英10年債	4.3095%	▲0.0600%
DAX	15,949.00	102.14	豪10年債	3.8860%	▲0.0460%
ハンセン指数	19,172.05	23.92	USDJPY 1M Vol	9.97%	0.48%
上海総合	3,189.38	▲ 0.07	USDJPY 3M Vol	10.38%	0.29%
NY金	1,922.20	▲ 1.60	USDJPY 6M Vol	10.15%	0.26%
WTI	69.56	1.86	USDJPY 1M 25RR	▲0.77%	Yen Call Over
CRB指数	259.22	▲ 0.49	EURJPY 3M Vol	9.97%	0.19%
ドルインデックス	102.91	0.41	EURJPY 6M Vol	9.89%	0.15%

東京	神田財務官から円安けん制発言が出た後、143.85レベルで東京市場オープン。朝方は軟調な展開で東京時間安値となる143.73まで下押すが、下落は浅く、その後は反転上昇し、正午前には144.04の高値まで上昇。ただ、正午ごろに財務相から円安けん制発言が出ると一段の高値追いとはならず143.92レベルで欧州市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、143.92レベルでオープン。午後にECBフォーラム最終日を控え、方向感なく推移し、結局144.14レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は144円台前半でスタート。東京時間では、本邦要人の円安牽制発言が相次いだことから、144円台丁度近辺を挟んだ上値重い推移が続き、144.14レベルでNYオープン。午前中に行われた国際金融会議ECBフォーラムでは、パウエルFRB議長が「連続利上げの可能性を排除しない」との見方を示すと、年内の追加利上げ期待が強まり、144.62まで値を上げ、連日の年初来高値更新となる。しかし、心理的節目の145円台での為替介入を警戒してか、それ以上の上値追いは限定的で、その後144円台前半まで反落。午後は米金利が低下する展開に上値を抑えられ、144.30近辺を中心とした狭い推移が続き、144.48レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09円台半ばでスタート。先述のイベントを控え、1.0950付近を挟んだ方向感出にくい中、1.0941レベルでNYオープン。午前中はパウエル議長の発言を受け、ドル買いが優勢となる中、1.0896まで値を下げるも、その後切り返し、1.09円台前半まで戻す。午後は材料乏しく、1.0920付近の小動きとなり、1.0912レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・逸見

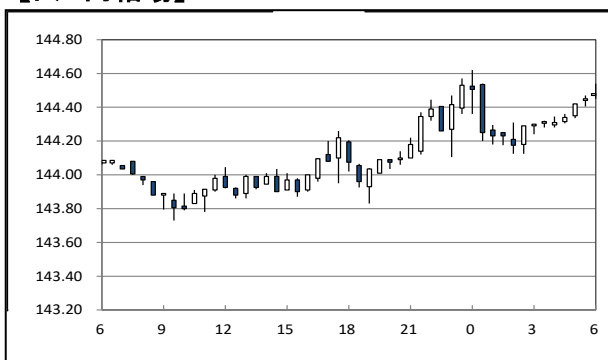
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月28日	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	5月 -0.1%	-0.1%
	22:30	米・欧・日・英の中銀総裁が講演	-	-

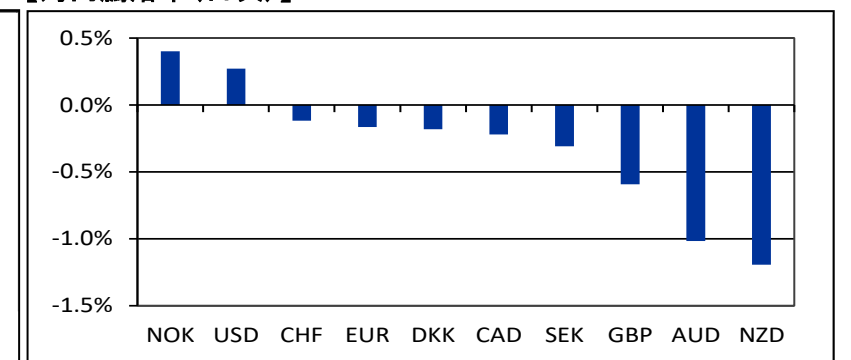
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月29日	18:00	欧 消費者信頼感・確報	6月 -	-16.1
	18:00	欧 鉱工業信頼感指数	6月 -5.6	-5.2
	18:00	欧 サービス業信頼感指数	6月 5.1	7.0
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q T 1.4%	1.3%
	21:30	米 個人消費	1Q T 3.8%	3.8%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	1Q T 5.0%	5.0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	24-Jun 265k	264k
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	5月 -0.5%	0.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.80-144.80	1.0850-1.0950	157.00-158.20

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は堅調な値動きとなった。東京時間は当局の円安けん制発言により143円台後半で上値重い推移となっていたが、国際金融会議(ECBフォーラム)の討論会で、FRBのパウエル議長ら主要中銀の総裁らが根強いインフレ抑制に向け一段の政策引き締めが必要、との認識を示したことを受けて、ドル/円は上値を試す展開となった。利上げ継続を示唆する米欧英の中銀と緩和を維持する日銀との方向性の違いが意識されて、ドル買いが強まり、144.62円まで上昇、連日の年初来高値更新となっている。本日のドル/円はもみ合う展開を予想する。ドル買い円売りが強まりやすい地合いではあるものの、心理的節目である145円台が近づき、日銀による円買い介入への警戒感もあることから、上値の重さを感じられる展開となりそう。一方で、月末・四半期末のフローが入り、上下に振れる局面も想定されることから、本日東京時間のドル/円は144円台中心で神経質な動きになると思われる。